

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三井化学株式会社 岩国大竹工場

(2) 事業所の所在地

山口県玖珂郡和木町和木六丁目1番2号

(3) 業種

1631 石油化学系基礎製品製造業

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和5(2023)年度から令和12(2030)年度までの8年間とする。

3 計画の基本的な方向

環境安全衛生方針

私たちは、三井化学グループのレスポンシブル・ケア基本方針に則って行動し、協力会社と一丸となって、環境保全、保安防災、労働安全、労働衛生の継続的改善を図る事で、地域と社会の期待と信頼に応え、社会の持続可能な発展に貢献します。

1. 「安全はすべてに優先する」を私たち全員が心に刻み、化学工場のプロとして人材を育成し、環境保全、保安防災、労働安全に関わる事故・災害のゼロを目指します。
2. 工場内で働くすべての人々の心と身体の健康増進に積極的に取り組みます。
3. 法令、社則及び工場ルール等を遵守します。
4. 環境負荷低減のため、廃棄物、化学物質及びGHGの排出削減、省資源・省エネルギーに努めます。
5. 社外活動・広報活動等のコミュニケーションを強化し、地域に信頼される工場を目指します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25(2013)年度	令和4(2022)年度
二酸化炭素	450,675	379,646

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25(2013)年度	令和4(2022)年度
二酸化炭素	8,862	8,607

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25(2013)年度	令和4(2022)年度
メタン	326	486
一酸化二窒素	164	208
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)	25	153

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 25 (2013) 年度)		削減目標		目標年度 (令和12 (2030) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO ₂	450,675	40.8	184,021	266,654	
非エネルギー起源CO ₂	8,862	0.0	0	8,862	
メタン	326	0.0	0	326	
一酸化二窒素	164	0.0	0	164	
その他 温室効果ガス	25	0	0	25	
温室効果ガス 実排出量総計	460,052	40.0	184,021	276,031	
温室効果ガス みなし排出量		-		276,031	
目標設定の考え方	2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比40%以上削減				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-			-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = ((c) - (g)) / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	燃料・蒸気・電気使用量削減	▲1. 8万t-CO ₂	・漏洩蒸気削減 ・機器高効率更新 ・製造プロセス、用役設備、排水処理設備 運転最適化 等
2	事業再構築	▲4. 7万t-CO ₂	・プラント停止
3	GHG排出削減	▲1. 6万t-CO ₂	・低GHG排出燃料への転換
4	燃料削減	▲3. 0万t-CO ₂	・地域連携による廃棄物ボイラーからの CO ₂ フリー蒸気の購入

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

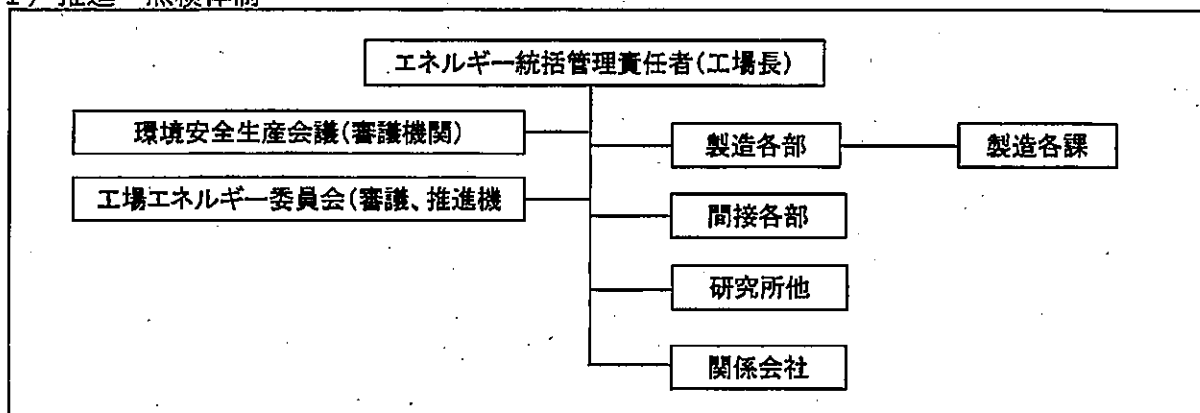
○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	事務所電気使用量削減		・冷暖房温度の適正管理 ・昼休憩時の消灯の徹底
2	廃棄物排出量削減	廃棄物埋立率0. 15%以下	・3Rによる廃棄物削減 ・分別収集の徹底
3	その他		・工場周辺地域清掃活動の実施

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

工場企画グループを中心に、省エネによる温室効果ガス削減量、温室効果ガス排出量およびエネルギー原単位等を集計。毎年度、取り組み状況の把握・点検及び問題点検討を行い、環境安全生産会議、工場エネルギー委員会にて定期的に評価、見直し等を行い継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

回覧場所
三井化学株式会社 岩国工場 安全・環境部 安全・環境グループ

工場位置図

